社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和07年03月25日

計画の名称	八王子市における水循環に係る処理場の統廃合に伴う整備（重点計画）													
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	八王子市													
計画の目標	処理場の統廃合により、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	6,673	A	6,673	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R03末	R05末
1	雨水ポンプ場の整備を20%（H31）から80%（R05）とする			
	雨水ポンプ場の整備実施率 処理場施設から雨水ポンプ場として整備された施設（棟）／処理場施設のうち雨水ポンプ場に必要な施設（棟）	20%	80%	80%
2	ストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを約7億円/年削減する			
	ポンプ場化整備に必要な施設の改築対策実施率 ポンプ場化整備に必要な設備のうち、改築が行われた設備の基数（基）／改築計画設備の基数（基）	0%	33%	100%
3	幹線管路の改良を0%（H31）から100%（H31）とする			
	幹線管路の改良実施率 処理場に流れ込む幹線管路のうち管路の改良を行った数（箇所）／処理場に流れ込む幹線管路の数（本）	0%	100%	100%
4	処理施設の解体撤去を0%（R04）から18%（R05）とする			
	処理施設の解体撤去率 処理施設のうち解体撤去された施設（棟）／処理場施設のうち雨水ポンプ場に不要な施設（棟）	0%	0%	18%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000646789

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八王子市	直接	八王子市	終末処理場	改築	雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）	処理場の雨水ポンプ場化	八王子市	■	■	■	■	■	3,594		策定済
		下水道広域化推進総合事業																	
	A07-002	下水道	一般	八王子市	直接	八王子市	終末処理場	改築	雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）	雨水ポンプ場化整備に伴う改築更新	八王子市	■	■	■	■	■	2,790		策定済
		下水道広域化推進総合事業																	
	A07-003	下水道	一般	八王子市	直接	八王子市	終末処理場	改築	幹線管路改良事業（広域化・共同化）	処理場の統廃合に伴う幹線管路の改良工事	八王子市	■					99		―
	A07-004	下水道	一般	八王子市	直接	八王子市	終末処理場	改築	雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）	雨水ポンプ場化整備に伴う処理施設の解体撤去	八王子市				■	■	190		策定済
		下水道広域化推進総合事業																	
											小計						6,673		
											合計						6,673		

案件番号： 0000646789

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八王子市の下水道事業は、環境基本計画に基づき実施しているため、事後評価を市の環境の保全等に関する基本的な事項を調査審議するための八王子市環境審議会にて実施。	令和7年2月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

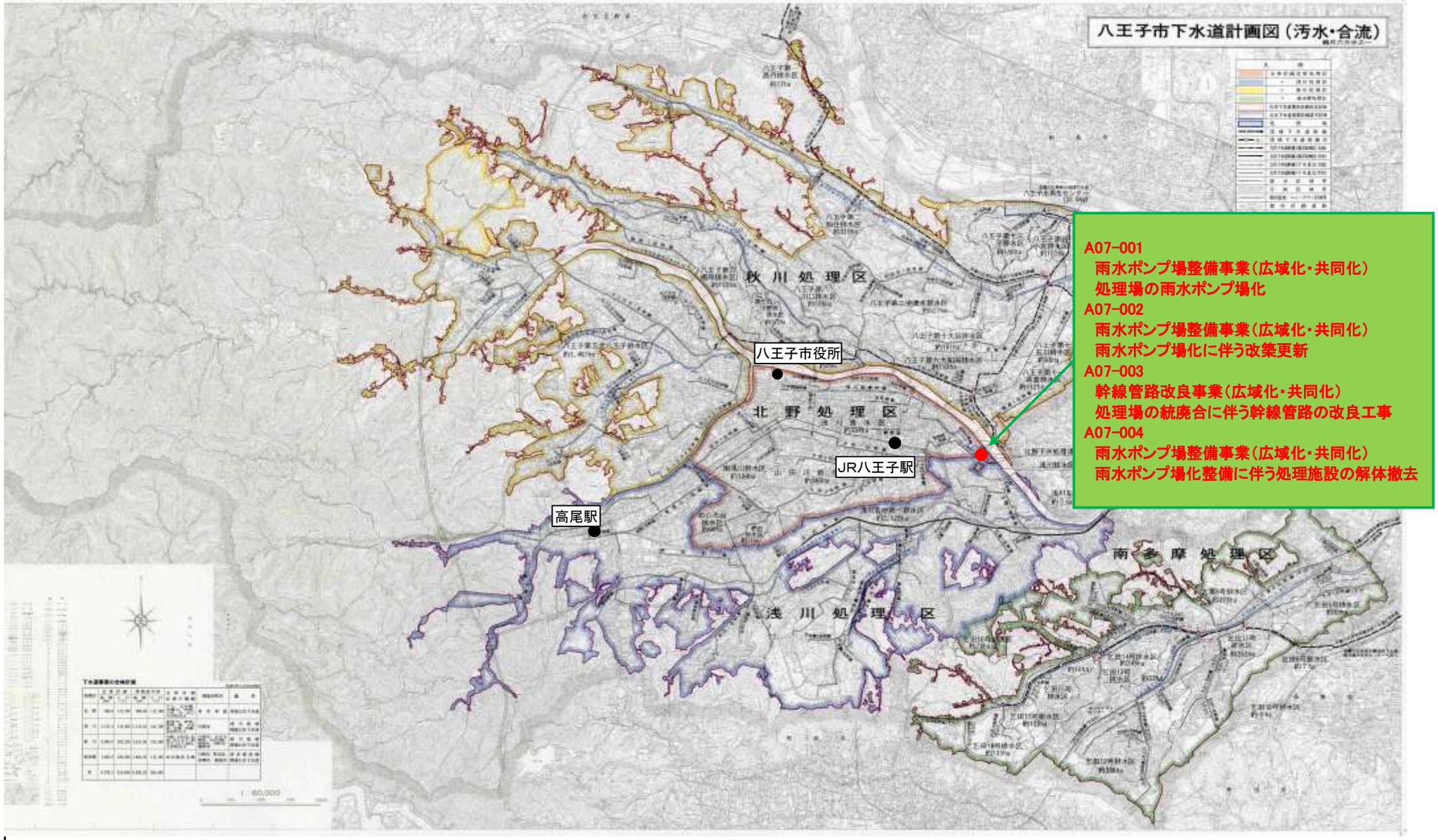
○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	①雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）（処理場の雨水ポンプ場化） 雨水ポンプ場の整備をすることで、コストを抑えた施設の配置が図られた。 ②雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）（雨水ポンプ場化整備に伴う改築更新） 雨水ポンプ場化に伴い既存施設の改築更新を実施することで、コストを抑えた施設の配置が図られた。 ③幹線管路改良事業（広域化・共同化） 幹線管路の改良を行うことで、雨天時に流域下水道で管理する処理場に適切な汚水量を流すことができた。 ④雨水ポンプ場整備事業（広域化・共同化）（雨水ポンプ場化整備に伴う処理施設の解体撤去） 雨水ポンプ場化に伴い土壌調査を実施したことで、不用となる処理施設の解体を行う準備が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）では、平成２８年度から重点配分の対象となる事業のみで構成される整備計画に対して、重点的な予算措置を実施していることを踏まえ、重点配分項目に当たる事業は重点計画として整備計画を作成する。令和６年度からは、「八王子市における水循環に係る処理場の統廃合に伴う整備その２（重点計画）」の整備計画を作成し、引続き「下水道広域化推進総合事業」として雨水ポンプ場の整備を実施する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水ポンプ場の整備実施率		
	最　終 目標値	80%	北野処理区を八王子水再生センターに編入したことにより、北野処理場を北野ポンプ場に再構築するため、令和元年度から3年度に旧処理施設を暫定雨水滞水池に改修する工事を実施し、令和2年度から4年度には監視室、ポンプ設備、沈砂池機械設備、電気設備の整備工事を実施した。また、新規雨水滞水池の築造に係る土壌調査を令和3年度に実施し、土壌汚染を確認したことから令和4年度に土壌汚染対策工事を実施した。令和5年度より雨水滞水池建設に係る工事をを進めたが、解体予定の既存建屋からアスベスト使用が判明したことから、除去工事に時間を要し、令和5年度事業費の繰越が生じた。令和3年度の土壌汚染、令和5年度のアスベスト使用の判明により、雨水滞水池建設に係る工事に遅れが生じたため最終実績値は70%となり、目標値を下回る結果となった。
	最　終 実績値	70%	
2	ポンプ場化整備に必要な施設の改築対策実施率		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
3	幹線管路の改良実施率		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
4	処理施設の解体撤去率		
	最　終 目標値	18%	雨水ポンプ場整備事業に伴い、不用となる処理施設の解体を行うものである。令和4年度に合流地区の下水を処理していた本場の一部及び、分流地区の汚水を処理していた分場で土壌調査を実施した。令和5年度には本場の一部の土壌調査を実施した。雨水滞水池建設に係る工事に遅れが生じ、本場の土壌調査が出来ていないため、実績値は12%となり、目標値を下回る結果となった。
	最　終 実績値	12%	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	八王子市における水循環に係る処理場の統廃合に伴う整備		
計画の期間	令和元年度　～　令和05年度　（5年間）	交付対象	八王子市